



# 道東ボーダーツーリズム

オホーツク・ゲートウェイ～時間と空間の交差点に行く

2015年10月2日(金)～5日(月)

旅行主催：ビッグホリデー株式会社 札幌支店(011-795-3025)

## < 企画立案 >

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター【境界研究ユニット】

NPO 法人国境地域研究センター

## < 協力 >

ANA セールス 境界地域研究ネットワーク JAPAN 稚内市 根室市

北見市 網走市 紋別市 稚内商工会議所 大地みらい信用金庫

北海道宗谷総合振興局 北海道オホーツク総合振興局 北海道根室振興局

## ■ボーダーツーリズムとは？

ボーダーツーリズムは、国境に接した境界地域を“砦”ではなく“交流拠点”と考え、境界地域ならではの体験を楽しもうという旅行スタイルです。国同士が陸続きにつながり、目に見える国境が存在する大陸では一般的な旅行スタイルとして定着していますが、四方を海に囲まれたわが国では、これまで旅行商品化されることはほとんどありませんでした。境界地域であるということを経験の魅力の一つと捉え、境界地域を「見る」「渡る」「比較する」ことで新たな魅力を生み出し、観光客の増加へと結びつけることで境界地域の地域振興を図ることを目的としています。

これまでは NPO 法人国境地域研究センター及び北海道大学、九州大学のボーダースタディーズ研究機関が企画立案し、旅行社が主催するかたちで、長崎県対馬と韓国・釜山、北海道稚内とロシア・サハリンなど国境を越え、双方の国境地域を体感するツーリズムとして発展してきました。これは国内観光と海外旅行をセットにした新しいツアーのかたちとして業界でも注目されています。

## ■国境を越えない「ボーダーツーリズム」の実験

国境を越えて向こう側にはいけない、にもかかわらず、今回初めて、歴史や文化、自然などで相互につながりのある境界地域を訪問する、いわば、国境を越えない「ボーダーツーリズム」を企画しました。道東からオホーツクにかけては歴史的に、そして現在も今、世界に広がる地域です。これまで実施されてきた「さいはて」北海道ツアーとは異なる魅力を現地の自治体やビジネスの全面的支援により、堪能していただければと思います。

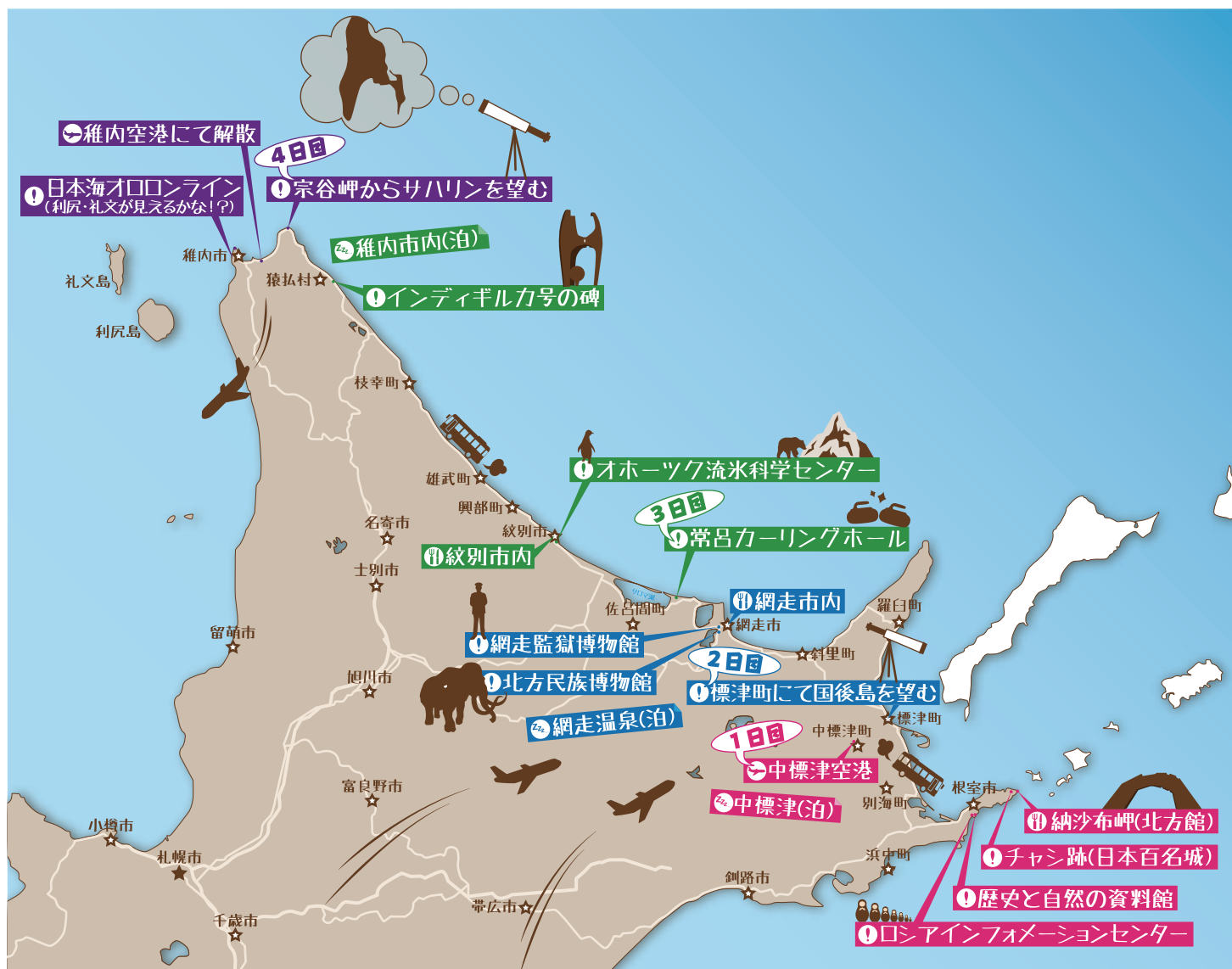
## ■NPO法人 国境地域研究センターについて

国境地域研究センターは、国境・境界地域に関わる研究者、ジャーナリスト、企業者、市民が中心となって 2014 年 4 月に設立された NPO です。理事長は「ローカル・イニシアティブ」を掲げ、市民活動や地域の自立を主導してきた藪野祐三九州大学名誉教授が務め、理事には北海道大学、九州大学、中京大学などの研究者らに法務・財務などの専門家が加わっています。現在、会員は約 100 名で、団体会員としては稚内、根室、対馬などの地域企業、旅行社やキャリア、医療、報道関係なども加入しています。とくにまちおこしや地域振興の調査と提言、各種企画の実施に力を注いでいます。

2013 年、日本学術振興会の実社会対応プログラムに「国境観光：地域を創るボーダースタディーズ」が採択されたことにより、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター・境界研究ユニット及び自治体と研究機関のネットワーク、境界地域研究ネットワーク JAPAN(代表幹事：長谷川俊輔根室市長)の主導により、境界地域の自治体、大学の境界研究者、地域シンクタンクなどの共同研究によってボーダーツーリズムの研究やモニター調査が開始されました。成果刊行物としてブックレット『国境の島・対馬の観光を創る』『「見えない壁」に阻まれて：根室と与那国でボーダーを考える』(いずれも北海道大学出版会)も刊行されています。

特定非営利活動法人 国境地域研究センター 公式サイト <http://borderlands.or.jp/>

境界地域研究ネットワーク JAPAN 公式サイト <http://src-hokudai-ac.jp/jibsn/>



\*最終日の宗谷観光のスケジュールは天候などにより、稚内まちなみめぐりに変更される可能性があります。

秋の晴れた日に浮き上がる島々～歯舞群島、国後島、サハリン  
 隣人ロシアの存在をそれぞれに感じる～道東から道北へ  
 ユーラシアと北米、そして北極海へつながるオホーツクの民族と自然  
 地域の知見を学ぶ「気づき」のツーリズム、これがボーダー  
 初めてのあなたも、これまで旅したことのあるあなたも、

新たな発見と震える出会い！

以下の、行程を予定しています・・・

### \*根室では

日本百名城オンネモト・チャシを地元ボランティアが解説  
貝殻灯台、水晶島など歯舞群島が望める納沙布岬を北方館館長が特別に案内  
ロシア人も立ち寄るインフォメーションセンター(花咲港)でロシア語ガイドブック謹呈  
歴史と自然の資料館で、日露国境標石(サハリン北緯 50 度線)を学芸員が解説  
国後と結ぶケーブル通信庫(「北方領土遺産」候補)。保存運動の推進者が同行  
中標津ホテルの夕食に、みらい大地信用金庫が特別に差し入れ！

### \*標津から網走へ

標津・北方館で国後を望み、ロシア人ともボランティア交流する元島民が解説  
ユーラシア、北極、北米との交易と交流。北方民族博物館の展示を学芸員がレクチャー  
リニューアルされた網走監獄博物館。対露を意識し囚人労働で近代化。学芸員の解説案内  
夜は網走の温泉(単純アルカリ・美人湯)でのんびり

### \*紋別から稚内へ

北見市常呂でカーリングの聖地を訪問  
紋別・流水科学センターでアムール河とオホーツク海の謎に迫る もちろんクリオネにも  
猿払でソ連遭難船から乗客を救出！インディギルカ号にみる現地発の日露交流  
宗谷岬からサハリンを望む 大韓航空機撃墜事件慰霊塔、旧海軍望楼が歴史を語る  
国境のまち稚内を市の専門家がバスに同乗解説  
稚内商工会議所が『わからない地域商品券』3000 円をプレゼント！

国境を越えない、国境地域(ボーダーランズ)ツーリズム 日本で初めて北海道で実施！

盛りだくさんの企画、濃密なスケジュール、そして新たな出会い

銘酒・北の勝、網走・流水ドラフト、稚内直輸入・サハリンビールなどで乾杯

宗谷・オホーツク・根室が総力を挙げて支援するトライアウト・ツアーにぜひご参加ください

これ以上の旅などない！ よくばりすぎたボーダーの旅

ボーダー(境界・国境)研究の専門家 岩下明裕・古川浩司(北海道大学&中京大学)が全行程を同行